

平面図のご提案に際して注意した点

<全体計画>

複雑な形状のテナントで、且つ、細長いテナントですが、できる限り、線型の計画では無く、面型の計画を行ない(1)、廊下を無くすことでスタッフの使いやすさと面積の効率化を試みました。

<受付・待合など>

診療所への入りやすさを考慮して、入口はテナントの中心の方に持ってきました。

正面に受付を配置し、患者さんにわかりやすい受付にしています。

車椅子の患者さんが多い場合、受付カウンターの一部をローカウンターにしても良いと思います。

「内科もみていく」と言うことでしたので、患者用の便所には検尿 BOX を設置しました。

職員用便所も患者用便所の近くに配置し、配管をやすく考えています。

<診察室・処置室>

「できれば2診で…」と言う事でしたので、別に処置室としても使える診察処置室を設置しました。

先生は左利きと言う事でしたが、この配置でよいと言う事で、通常の右利き配置にしています。

診察室の後ろはスタッフの方が行き来できるように通路兼バック流しスペースを取っており、患者さんとの動線は分けられています。

< X 線室 >

いただいた仮の機器の大きさにレイアウトしましたが、機器が変更になる場合は、修正をお願いします。

特に X 線室が少しでも小さくできるのであれば、操作室を少し広げたいところです。

基本的にはそれほどレントゲンはとらないとおっしゃっていましたので、レントゲン室を奥めの配置にして、その分、診療所全体の動線や使い勝手が良いように計画しています。

<リハビリ・処置室>

部屋の手前が処置系のスペースで、奥がリハビリ系のスペースとしていますが、将来の患者さんの動向によって、処置室を広げてリハビリを狭めたり、その逆ができたりできるように考えています。

更衣室についても、リハビリのスペースを少しでも広げたい場合に対応できるように、アルミパーティション(2)などを利用すると良いかもしれません。

機器が最終決定ではないと言うことでしたので、いただいている機器をレイアウトしてみました。

正式決定後、医療器械の業者さんと設計者さんと3者で必ず打ち合わせを行なって下さい。

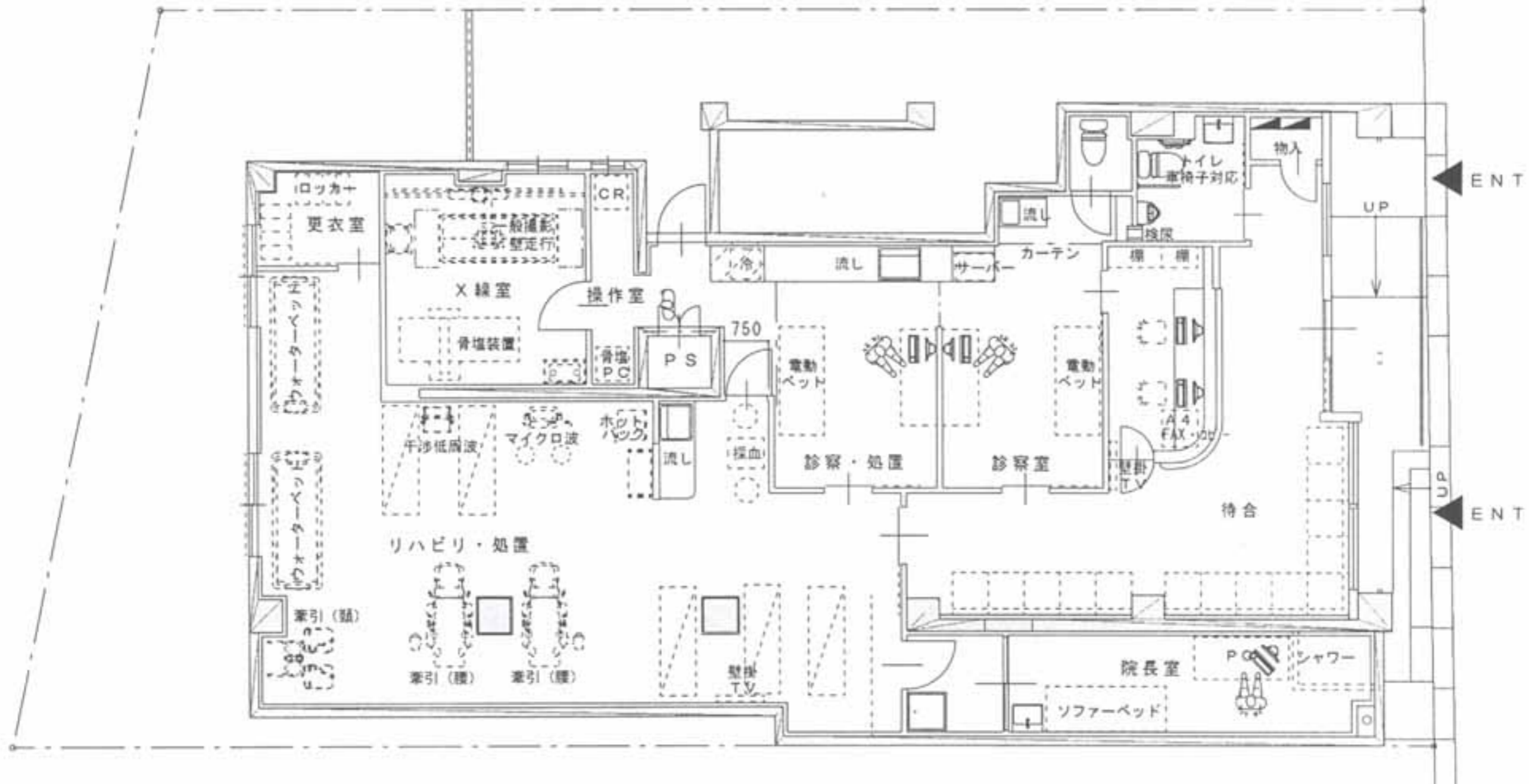
特に設備関係の取り合いや、防災機器との干渉などを注意しておいて下さい。

<最後に>

今回の提案はあくまでも、現場の確認をせずに行なってるものですから、今回、描かせていただいた計画をご参考に実際に設計される設計者の方や工事される施工者の方と十分にお打合せを行なって下さい。

尚、この計画案の著作権につきましては、株式会社コンパスに帰属しますので、設計者さんも施工者さんも含め、今回の 先生
の診療所以外にはお使いにならないようにお願いします。

- 1 面型の計画、線型の計画については、当社ホームページの「ワンポイントアドバイス&コラム」の「プランニングに見られる2つのパターン」をご覧ください。
- 2 アルミパーティションは事務所などに設置される壁の事です。添付資料をご参照ください。



平面図 S = 1:100